



高円宮杯 2014ホッケー日本リーグ【女子】 第 4 節 第 10 日

開催日時 6 月 22 日 (日) 会場 日光市ホッケー場 天候 曇り時々雨

【全試合結果】

第1試合 ----- 12:00	ソニー HC BRAVIA Ladies 8 $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 5 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 山梨学院 CROWNING GLORIES
第2試合 ----- 14:00	グラクソ・スミスクライン Orange United 5 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 4 & - & 2 \end{pmatrix}$ 2 東海学院大学

【各試合の結果・詳細】

第1試合

ソニー HC BRAVIA Ladies 8 $\begin{pmatrix} 3-0 \\ 5-0 \end{pmatrix}$ 0 山梨学院 CROWNING GLORIES

勝点 28
9 勝 1 分 0 敗

勝点 10
3 勝 1 分 6 敗

<得点>

SONY : 18分中島、25分中島、33分中川、38分坂井、45分早戸、49分深野、50分中島、70分坂井
山梨学院 :

<戦評>

ソニー HC BRAVIA Ladiesのセンターパスから試合が始まると、開始早々からSONYが攻め込みPCを獲得するが、ゴールは決まらない。その後、18分、SONYは山梨学院CROWNING GLORIES陣内に攻め込み、シュートのリバウンドを#10中島が決め、1-0とリードする。また、25分にもSONYは、右サイドからの打ち込みを#10中島が合わせ、2-0と追加点を上げる。さらに、前半終了間際には、SONYは猛攻からサークル侵入すると、#10中島のシュートのこぼれ球を#5中川が押し込み、3-0とSONYリードで前半を終了した。後半もSONYペースで試合が展開する。38分、SONYは開始早々からPCを獲得し、#4坂井がフリックを左下に決め、4-0とする。SONYの猛攻は続き、45分、右サイドからリズムのいいパス回しから最後は#13早戸が押し込み5-0。さらにSONYは、49分、右サイドからの打ち込みに山梨学院DFがタッチした難しいボールを#8深野が決め6-0、50分にはPCからのフリックを、#10中島がタッチで合わせ、7-0と点差を広げる。一方の山梨学院は、65分にPCを獲得するが、決めることが出来ない。後半終了間際の70分、SONYは獲得したPCを、#4坂井が左下にフリックを決め、8-0の大差で勝利した。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	我妻 順子
ジャッジ	関根 由美子・若林 美枝		野澤 達

第2試合

グラクソ・スミスクライン Orange United 5 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 4-2 \end{pmatrix}$ 2 東海学院大学

勝点 15
5 勝 0 分 5 敗

勝点 4
1 勝 1 分 8 敗

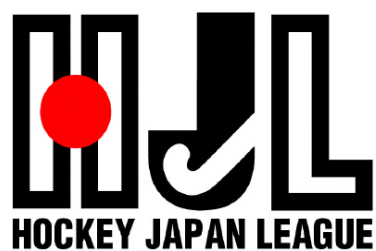
<得点>

グラクソ : 3分伴田、52分片峯、56分中畝地、58分狐塚、70分柴田
東海学院 : 44分清水、48分森田

<戦評>

グラクソ・スミスクライン Orange Unitedのセンターパスにより試合開始。開始直後の3分、グラクソがPCを獲得し、#3伴田がヒットシュートを決め、先制した。激しい攻防が展開される中、追いつきたい東海学院大学は、12分にPCを獲得するが、得点には繋がらない。その後も東海学院は、何度もゴール前にボールを運ぶも、グラクソの堅い守備に阻まれ、ゴールまでに至らない。35分、東海学院はPCを獲得するも得点には繋がらず、前半1-0とグラクソリードで前半が終了した。東海学院のセンターパスにより後半開始。44分、東海学院がPSを獲得し、#9清水が決め、1-1の振り出しに戻った。直後の48分、勢いに乗る東海学院は、右サイドからの攻撃で、#11森田がシュートを決め、逆転に成功した。東海学院の勢いを止めたいグラクソは、52分、フリーヒットのセットプレーから#8片峯が押し込み、2-2の同点に追いつく。さらに、グラクソは、56分にPC獲得からヒットシュートのリバウンドを#6中畝地が決めて逆転に成功し、58分には左サイドから#7狐塚がシュートを決め、点差を広げた。東海学院も再三攻め込むも、得点することができない。後半終了間際の70分、グラクソは左サイドから#11柴田がループシュートを決め、5-2と試合を決定づけた。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	山田 恵美
ジャッジ	関根 由美子・若林 美枝		押田 幸二



高円宮杯 2014ホッケー日本リーグ【 女子 】 第 4 節 第 10 日

開催日時 6 月 22 日 (日) 会場 立命館大学校野ホッケー場 天候 曇り

【全試合結果】

第1試合 ----- 12:00	南都銀行SHOOTING STARS 1 $\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ
第2試合 ----- 14:00	立命館大学 0 $\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 3 \end{pmatrix}$ 5 コカコーラウエスト レッドスパークス

【各試合の結果・詳細】

第1試合

南都銀行SHOOTING STARS 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

勝点 20
6 勝 2 分 2 敗

勝点 1
0 勝 1 分 9 敗

<得点>

南都銀行 : 45分鹿取

天理大学 :

<戦評>

南都銀行SHOOTING STARSのセンターパスで試合開始。

南都は開始早々にPCを獲得。得点には至らないが、その後も南都の流れで試合は進む。対する天理大学ベアーズは守備の時間が多い中、#9辻井、#10江村を中心にチャンスを狙う展開。両者チャンスは作るものの、決定力を欠いて無得点のまま前半を終える。

後半に入っても南都のペース。迎えた43分、南都はこの日7本目のPCを獲得すると、#5勝山の鋭いヒットに#4鹿取がタッチで合わせ、待望の先制点を決める。53分、天理はサークルトップでボールを受けた#15高山がリバースシュートを放つがゴール左に外れ、追いつくことが出来ない。追加点を狙う南都、65分にはGKと1対1となる決定的なチャンスを作るがGKの好守に阻まれ、得点できない。そのまま試合は終了し、1-0で南都の勝利となった。

テクニカルオフィサー	清水 恭子	アンパイア	藤原 真由美
ジャッジ	山内 善博・西松 孝治		山口 千恵美

第2試合

立命館大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$ 5 コカコーラウエスト レッドスパークス

勝点 11
3 勝 2 分 5 敗

勝点 26
8 勝 2 分 0 敗

<得点>

立命館大 :

CCWR : 7分新井、12分浅井、40分金藤、52分新井、68分金藤

<戦評>

立命館大学ホリーズのセンターパスで試合が開始された。

6分、コカ・コーラはサークルトップでボールを受けた#13加藤がDFをうまくかわしシュート、GKが弾いた浮き球を#9新井が押し込み先制する。続く11分、コカ・コーラはPCから#4浅井がストレートでゴール右下に決め、2-0とリードを広げる。反撃したい立命館は19分、中盤から右ウイングにうまく繋ぎセンタリング、惜しくも中で合わせられず得点できない。前半終盤、コカ・コーラは立て続けに3本のPCを獲得するが、立命館DFの粘り強い守りの前に追加点を奪えない。

後半に入ってもコカ・コーラの攻勢は続く。立ち上がりから連続でPCを取得し、41分に#8小野の鋭いスweepに#19金藤がタッチで合わせて3-0。一矢報いたい立命館も前線までボールを運ぶが、堅いコカ・コーラ守備陣の前に決定機を作ることが出来ない。その後も終始ペースを握ったコカ・コーラが2点を加点し、5-0で勝利した。

テクニカルオフィサー	清水 恭子	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	山内 善博・西松 孝治		元宗 広寿